

TA・LA・授業支援SA向け研修を実施しました

教育開発支援センターでは、各学期開始前に、授業を支援するスタッフに対し研修を実施しています。今年度春学期開始前にも、以下の通り研修を実施しました。

(CTL事務局)

対象	実施日	主な内容
TA (Teaching Assistant)	3月27日(木)	・TA業務に関する説明 ・TA同士の意見交換
LA (Learning Assistant)	3月19日(水)	・LA業務の心がまえ ・グループワーク・ファシリテーション実習
授業支援SA (Student Assistant)	3月25日(火)	・SA業務の基礎知識 ・SA卒業生講演会

LAの活動報告： 国際学会でのインターンシップ

今年3月23日から28日までの6日間、LA4名が台湾台北市にあるAcademia Sinica(台湾国立総合研究所)で行われた国際学会で、運営スタッフとしてインターンシップを行ってきました。参加者は、池澤智也(政策創造学部3年)、横手奎祐(文学部2年)、松田昇子(政策創造学部1年)、鈴木香帆(文学部2年)の4名でした。

ISGC2014は、世界各国から300名以上の参加者がいる国際学会で、インターネット上のクラウドを利用した自然科学、教育、言語、細胞組織構造などの分野の発表が行われました。



インターンシップに参加したLAとCTL教員

私たちLAは、学会の二日前より学会運営の研修を受け、学会会場の設営や学会配布資料の準備等を手伝いました。学会中は現地学会スタッフと共に、受付業務、会場運営業務、座長サポート等の支援を行いました。参加者はもちろん現地の運営スタッフとも英語でコミュニケーションを取らなければならず、難しいと感じる点はありましたが、貴重な経験をする事ができ、私たちにとって大きな収穫となりました。またLA業務で日々心がけている自ら積極的に活動する姿勢・態度や貢献が評価され、閉会式で学会主催者のSimon C. Lin学会委員長より感謝状を頂くことができました。

このインターンシップでの経験を通して、国籍、言語、文化を超えた

Learning Assistant

LA活動報告

コミュニケーションをとることの大切さ、自ら積極的に活動する姿勢や態度、すなわち「考動力」の実践がグローバルレベルで認められることが分かりました。今後はこのスキルや経験をLA勤務の中で発揮し、他のLAや受講生と共有できたらと思います。

(LA・文学部2年 鈴木香帆)

LAが自主的に社会人と研修!

2月22日と5月10日に関大学生一LAを中心に「社会人とともに学ぼう」をスローガンに本学OB・OGと現役関大生が交渉学の合同ワークショップ研修を行いました。学生側の参加者は本学のみならず、関西圏の他大学、九州、関東圏の大学から40名ほど、社会人側は関大OBを中心に、第一線で活躍する社会人(弁護士、知財マン、エンジニア、営業マン、会社経営者、関西圏の社会人で勉強会を組織する知財PeCoのメンバー)が70名ほど集まりました。

学生と社会人の混合チームを20チーム構成し、交渉学演習を行いました。実際に起こりうるような状況設定を共有した後で、チームごとに問題点を話し合っ整理し、当事者の立場に立って最適案を合意形成しました。さらに、ロールプレイによる模擬交渉を実体験し、信頼関係を築くことがいかに大変なことを学びました。

(教育推進部 山本敏幸)



ワークショップの様子

教育開発支援センター 活用案内 CTL

岩崎千晶(編著)



教育開発支援センターでは、高等教育に関する様々な書籍をご用意致しております。市販の図書に加え、各大学の紀要や報告書等も充実しております。閲覧・貸出は自由ですので、お気軽にお越しください。ご推薦頂ける書籍等も随時受け付けております。教育開発支援センター(千里山キャンパス第2学舎1号館1階)までお気軽にお問い合わせください。

書籍紹介 (いずれも貸出可能です)

教育推進部教員の著書が発行されました。ご関心のある方は、ぜひご覧ください。教育開発支援センターにも配架しております。

『大学生の学びを育む学習環境のデザイン -新しいパラダイムが拓くアクティブ・ラーニングへの挑戦-』

岩崎千晶(編著) A5判、410頁 定価: 本体2,000円+税 (関西大学出版部)

本書は、アクティブ・ラーニングを主軸とした「大学生の能動的な学びを育むための学習環境のデザイン」を構築するための入門書で、理論編と実践編から構成されている。理論編「高等教育における学習環境を考える」は、アクティブ・ラーニングが導入された背景、理念、具体的な手法、学習支援、評価方法について検討している。実践編「学生の主体能動的な学びを促す学習環境のデザイン」は、「演習」「多人数講義」「ICTの活用」「社会連携」を視点に、関西大学全学部、教育推進部、国際部、会計専門職大学院、留学生別科の教員23名が授業実践を紹介している。

『学生と楽しむ大学教育 -大学の学びを本物にするFDを求めて』

清水亮・橋本勝(編) A5判、400頁 定価: 本体3,700円+税 (ナカニシヤ出版)

教育推進部三浦真琴教授・森朋子准教授が、執筆者となっております。

『ピアの響を繋ぎ、学習を楽しむ: 学習コミュニティ論からピアを考える』(森 朋子) 『三浦流の学生と楽しむ大学教育』(三浦 真琴)

モバイルPCカートの運用について

教育開発支援センターでは、平成26年度春学期からモバイルPCカートの貸し出しを開始しました。本学専任教員または非常勤講師であればごなたでも、授業内でご利用可能です。

■モバイルPCカートとは?

タブレットPC25台を収納したカートです。カートには、プリンタ・スキャナ複合機を付属しています。

■モバイルPCカート授業導入の利点

- 通常の教室にカートを選び入れることで、パソコン教室とはほぼ同様に授業ができます。
- KU-WiFiを利用し、ネット接続することができます。
- グループや個人が授業中にパソコンを使って、課題に取り組むことができます。
- 授業内に作成した学生の課題をその場でプリントアウト、またはプロジェクターに映し出すことができます。
- 授業中に資料のダウンロードすることで、ペーパーレス化が実現できます。



ご関心のある方、ご活用を希望される方は、CTL事務局までお問い合わせください。